

「リウマチ手記」 匿名希望 39 歳

2014 年 12 月 13 日

2013 年 7 月初め

右手の薬指の第二関節に、打撲のような痛みを感じ、あれ？何処かでぶつけたかな？そう思っていました。2.3 日して、反対の左側の同じ薬指にも、同じ痛みを感じました。我慢できないほどの痛みではないので、そのまま忙しく毎日が過ぎていました。しかし、その痛みはじんわりと痛みだし、1 ヶ月経ったころには、明らかに、両手の関節が痛みがひどくなり、ペンを持つのも力が入らなくなっていました。その頃から、もしかしてリウマチでは？と思っていました。そう思った理由は、母が 3 年程前から、関節リウマチを患っていたからです。リウマチは遺伝する要素があると聞いていました。その頃、母のリウマチの症状は、痛みはなく安定していました。「薬がよく効いている。」とのことでした。リウマチのことを知らなかった私は、母の様子を見て安心していました。母は薬を服用し続け、完治しないで一生薬を飲んで生活をするのかな？と思っていました。私もそうなるのかな？と考えると不安になりました。この頃から指先にピリピリとした痛みを感じるようになっていました。リウマチについてインターネットで検索していると、血液検査でリウマチかどうかははっきりわかる。ということでしたので、まずは近くの病院で血液検査を試みることにしました。その結果は、抗 CCP 抗体の値は高くなく陰性でした。一瞬「ほっ」としましたが、ではこの痛みは何なのか？と、さらに不安になりました。血液検査の結果をみても、リウマチでは？という思いが消えず、ちゃんと専門のところで見てもらおうと思い、インターネットで病院を調べているうちに、松本医院のホームページに辿り着きました。ホームページを読み、一生、薬を飲まずに完治したいという思いから、松本医院に行くことを決めました

2013 年 8 月 24 日初めて受診

なぜ、松本医院に来たのか不思議に思われながら…自分の思いや母のことなどを説明し漢方薬とヘルペスの薬を処方される。その後は 2 週間分の漢方薬を飲み終える頃には、こわばり、痛みが和らぎ、時々、関節・指先がピリピリと痛むことがある程度になり薬指の第二関節はほとんど痛くなくなりました。もともと、我慢できないほどの痛みではなかったのですが、松本医院に行き始めるまでは、ペットボトルのふたが開けにくい、字を書くときに力が入らないなどの不便がありました。今では朝、むくんでるかな？という程度で、ほとんど痛みがなくなりました。

2014 年 12 月現在に至ります。

今では、母（関節リウマチ）と息子（アトピー）も通い続けています。